



優勝を争う筑波大との直接対決。引き分け以上で優勝が決まるこの試合。前半1-1で折り返すものの、後半10分、12分、42分と得点を重ね2年連続2度目の優勝を果たした。

原、巻の新戦力の活躍はもちろんそれに加え、中嶋、大澤をはじめ昨季までB、Cチームにいた選手の成長により底上げができたことも優勝の大きな要因だろう。「今年はスター選手がいらない。誰かに頼るんじゃなくてチーム一丸となって監督の言う『最後まで諦めない』サッカーをしようっていうみんなの気持ちがあったから優勝できた」。中後が語ったようにみんなの頑張りが2度目の栄光を引き寄せた。

**○4-1 筑波大学**  
2年連続2度目の優勝！！

**○2-1 東京学芸大学**  
ロスタイムの奇跡再び！！

思うように勝ち点を奪えないでいた駒大戦で貴重な勝ち点「3」を積み上げたものの差で筑波大が迫っていたため、駒大に余裕勝たなければというプレッシャーからか、戦では相手をつきはなす追加点がなかなか怒涛の攻撃を仕掛けてくる東学大。ディその猛攻を防ぐ頑張りが実を結んだのは最後のゴールがチームを救った。「最後まで大のサッカーを象徴する試合だった。



**8節 △1-1 日本大学**  
後期開幕戦も勝てず…

の間、ユニバーシアードに参加していた中中、中後、原。ユニバー組との練習不足、田中が怪我で欠場と不安材料の多いなか後を迎えた。その不安は的中し、前期同様引き分け。決めるところで決められず、得点の課題も出てきた。

第77回関東大学サッカーリーグ戦 駒澤大学 優勝までの軌跡を辿る

駒澤大学・2003関東大学1部リーグ全成績

優勝：10勝1敗3分け 得点36 失点16 (+20)

節	順位	スコア	相手	得点者(アシスト)
1	4	△1-1	日本	赤嶺
2	4	○1-0	中央	中田(永井)
3	4	○3-2	順天堂	赤嶺(小林亮)、巻(橋本)、原
4	4	○2-1	亜細亜	赤嶺、関(中田)
5	2	○2-1	国士舘	原(中田)、巻(原、小林亮)
6	1	○3-0	東京学芸	原(巻、桑原)、中田、橋本(中田)
7	1	○6-4	筑波	橋本、赤嶺(中後)③、巻、原
8	1	△1-1	日本	中後
9	1	○6-0	順天堂	O・G、中嶋(筑城)、赤嶺(巻)、鈴木祐(橋本)、原、巻(根本)
10	1	△0-0	中央	なし
11	1	○3-1	亜細亜	中田(橋本)②、原
12	1	○2-1	東京学芸	原(橋本)、中後(赤嶺)
13	1	○4-1	筑波	原、橋本、赤嶺(中田)、原(中田)
14	1	●2-3	国士舘	赤嶺、田中

得点内訳：9得点…赤嶺、原 4得点…中田、巻 3得点…橋本 2得点…中後 1得点…田中、関、中嶋、鈴木祐  
アシスト内訳：5アシスト…中田、橋本 4アシスト…中後、巻 3アシスト…小林亮、原 1アシスト…永井、桑原、根本、赤嶺、筑城

まさかのドロースタート、順大相手の奇跡の逆転勝ち、筑波大との白熱した乱打戦、下位チームとの引き分け…。今年は深井、巻のような絶対的なスター選手はいない。昨年の覇者である駒大にとって優勝への道のりは決して平坦なものではなかった。皆の頑張りやで苦しい戦いを優勝という最高の形で締めくくった駒大の軌跡を振り返ろう。

**第2節 ○1-0 中央大学**



**キャプテン中田がチームを救った！**

今年1部に昇格してきた日大相手に引き分け、不安の残るスタートとなってしまった駒大。2節の中大戦でも苦しい時間帯が続いた。しかし、この日スタメンで起用された永井が持ち味である快足を披露し、キャプテン中田のゴールをアシスト。貴重な今季初勝利を手に入れた。



**第3節 ○3-2 順天堂大学**

**ルーキー二人が大活躍！！**

「あそこで負けていたら優勝は無かったかもしれない」と鈴木が言うように、リーグ戦を振り返って選手の多くが正念場だったと語った第3節。誰もが2-2の引き分けを確信したロスタイム、初出場の原の得点が決まり大きな勝ち点を得た。

**第6節 ○3-0 東京学芸大学**



岩政率いる東学大ディフェンスから3得点を奪い、失点もゼロに抑え、昨年1度も勝つことが出来なかった東学大相手に快勝！、今季初の首位に立った。



昨年、最終節まで優勝を争った筑波大との戦いは6-4の乱打戦となった。この試合では深井(鹿島)、巻(市原)の穴を埋める期待のかかっていた新エース赤嶺がハットトリック！首位で前期を折り返す。

**第7節 ○6-4 筑波大学**  
新エース赤嶺 ハットトリック！